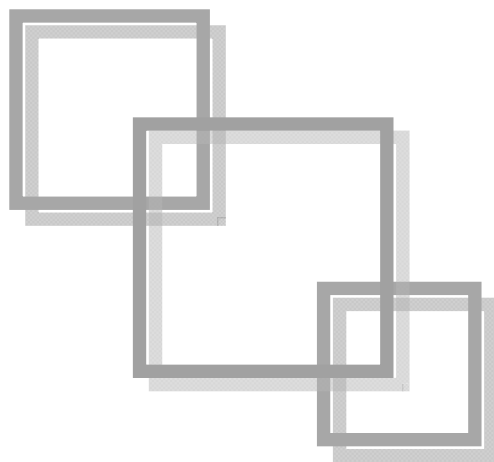


飯能市 地区別まちづくり計画

新しい時代への自立・
協働とイノベーションのまち



平成28～32年度

ごあいさつ

飯能市は、都心から近い距離にありながら、奥武蔵の山々から流れる清流と市街地を取り巻く里山、また市内随所に点在する古刹など四季折々に魅力を楽しめる自然豊かな歴史あるまちです。

飯能市では、「森林文化都市」の理念が、ムーミンのテーマの1つである「自然との共生」に合致し、「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設 Metsä（メツァ）」が開設することとなり、地方創生の大きな柱として地域の活性化、活気のあるまちの実現を目指していきます。

各地区のまちづくり推進委員会では、飯能市の特徴である「都心に近く多様で豊かな自然環境」の中で、各地域の特性を活かした様々な活動に取り組んでいただいております。

そして、第5次飯能市総合振興計画の将来都市像『水と緑の交流拠点 森林文化都市 はんのう』を目指して、平成28年度から平成32年度までの5年間の行動指針である「飯能市地区別まちづくり計画」について見直しを行っていただきました。

今後は、この計画に基づき、地域でのコミュニティ活動を通して市民がまちづくりに自主的に取り組み、郷土への愛着と誇りを育ていただけるよう、共に手を携え市も協力して取組みを進めていきたいと考えております。

最後に、この計画の策定にあたりましてご尽力をいただきました各地区のまちづくり推進委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年4月

飯能市長 大久保 勝

目 次

飯 能地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	3
精 明地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	11
加治・美杉台地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	19
南高麗地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	27
吾 野地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	37
東吾野地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	47
原市場地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	57
名 栗地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	65

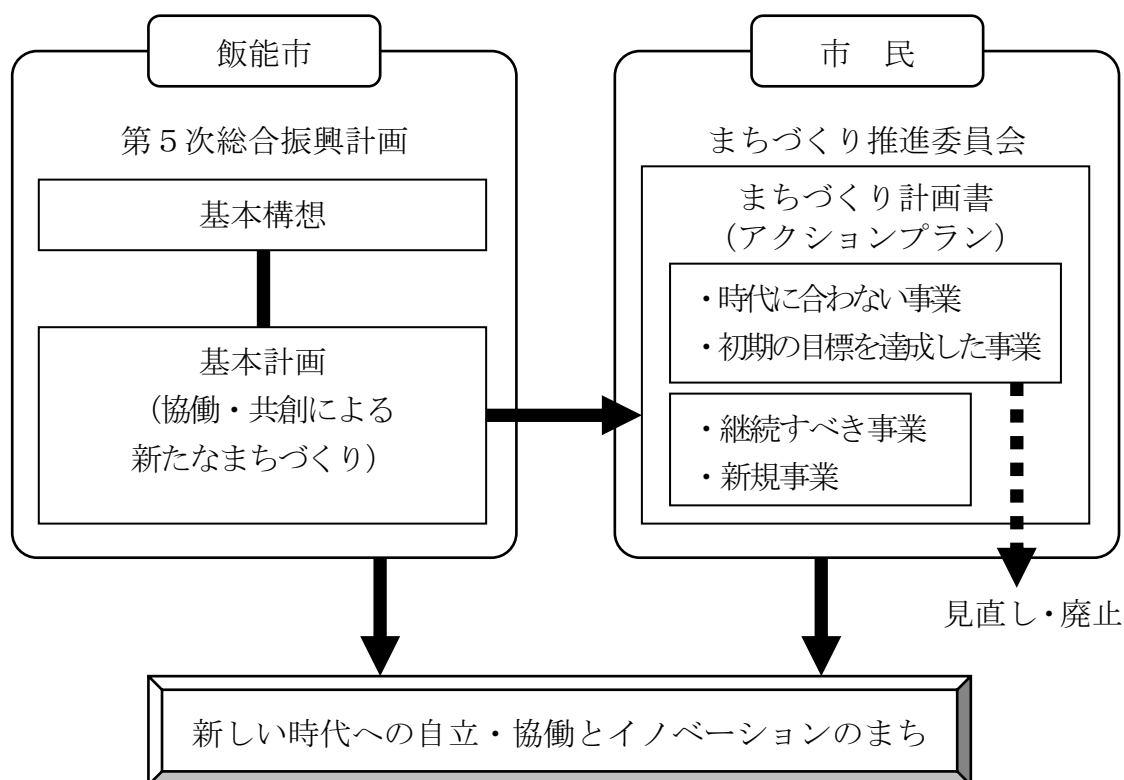
地区別まちづくり推進委員会

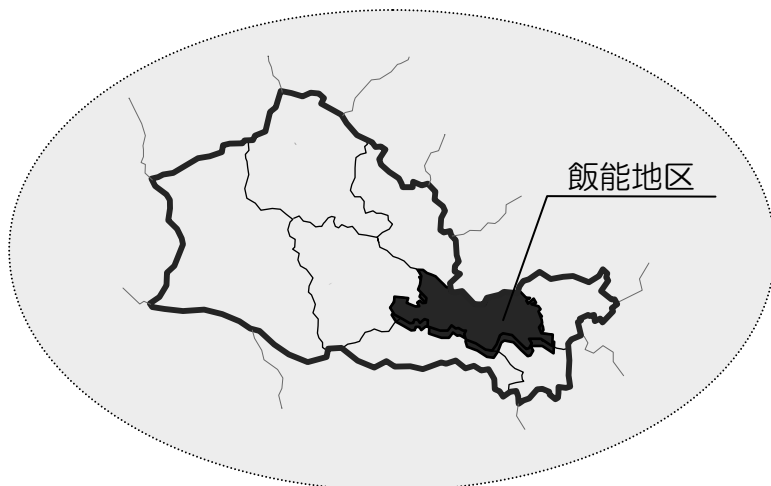
各地区まちづくり推進委員会は、第3次飯能市総合振興計画で地域コミュニティの形成を目指して平成9年度から発足し、現在では飯能、精明、加治・美杉台、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗地区において、市内8地区で委員会が組織されています。

第5次飯能市総合振興計画の策定に合わせ、平成23年度から平成27年度のアクションプランを見直し、新たな地区別まちづくり計画書を策定することで、地域の特性を生かし一層充実した地域コミュニティづくりを推進していきます。

●計画の期間

本計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。





飯能地区



「飯能河原」夏の風景

飯能地区は、飯能市の玄関口である飯能駅と東飯能駅を起点とし、四季を通じ行楽やハイキング客に人気の「天覧山・多峯主山」や「清流の飯能河原・吾妻峡」など、都心から約60分で訪れる事ができる行楽のスポットを有し、市民も日々散策を楽しめる地域である。

一方、歴史のある建物や蔵造りまたは、古くから営み続ける様々な商店が軒を連ね、数多くの路地や神社・仏閣が共存している市街地や西川材の山林を抱える山村風景もあり、豊かな自然と人々の生活が調和した魅力的な地区である。

活動実績

飯能地区まちづくり推進委員会は、コミュニティ団体の代表及び公募の会員 49 名で構成。当会の活動は、「市民及び来街者に飯能の魅力を伝える事により、より深く飯能に愛着を持ってもらえる活動」、並びに「飯能河原、天覧山等自然あふれる地域の環境整備活動」を軸に展開してきた。飯能の魅力を伝える活動では、飯能駅改札前で「なんでも案内所」を開設し、地域の事なら「何でも」ご案内する活動を平成 22 年度から 3 年余にわたり展開してきた。そして、案内活動で得られた来街者の声を分析し、飯能の何処に魅力を感じているのか等をデータ化し、市に観光事業の基礎情報として提供しつつ、飯能駅での観光案内所の必要性を提言してきた。また、案内の為に MAP 等の情報ツールが必要となり「駅から MAP シリーズ」と称したイラスト MAP 3 種類を作成・活用し、市民・来街者から好評を得て来た。飯能市の「中心市街地活性計画」の推進組織「まちなかを元気にする会」の発足を機に、当会会員も多くこの組織に参加し、飯能駅に観光案内所を作るべく連携して活動に取り組み、平成 26 年 4 月に駅前観光案内所「ぶらっと飯能」開設の運びとなる。また、「駅から MAP 1～3」も観光案内所に常備される事になった。これにより、当会は平成 26 年度から「埋もれた飯能の魅力再発見の為に情報ツールづくりと活用」に活動の軸足を移す。「駅から MAP シリーズ」で培った地図づくりのノウハウを活かし、駅から MAP シリーズ第 4 弾「飯能まちなか ワクワク歩いてみんべえ～」を作成し、地域の魅力再発見と郷土愛の育成に繋げるべく子ども達の教育にかかわる組織・団体を中心に 1 万部配布した。また、自然あふれる地域の環境整備活動では、地域住民と一緒に「まちなか散策、ハイキング、飯能河原 BBQ」等を実施し、コミュニティの交流・親睦を図るとともに、飯能市にハイキング及びまちなか散策道の案内標識等の改善提案を行った。

現状と課題

組織の強化・活性化を図るべく、当会発行の「まちづくり通信」や市の「広報はんのう」、「地区行政センターだより」等を通じて会員の募集を行うも、活動に参加できる市民ボランティアの応募は限られており、特に女性のボランティア参加を促進するための働きかけが課題である。そのためには、地域住民の参加をより広く得られるような地域ぐるみの活動に取り組む必要がある。地域住民が触れ合える活動に軸を置き、魅力ある具体的な企画を展開し、地域コミュニティの形成と発展に寄与することが求められる。また、「まちなかを元気にする会」の目的は、当会の目的と重なる部分もあり、今後も連携して相乗効果が得られるように活動を展開していく。

将来像

恵まれた自然環境と魅力あるまちなかで
訪れる人と住民が元気にふれあえるまち

サブテーマ

- 豊かな自然と地域住民の生活が調和したまちづくり
- 元気に楽しく人々がふれあえるまちづくり

飯能地区協働計画「アクションプラン」



将来像

サブテーマ

アクションプラン

恵まれた自然環境と魅力あるまちなかで
訪れる人と住民が元気にふれあえるまち

豊かな自然と地域住民の生活が調和した
まちづくり

飯能河原の環境整備による市民の憩い
の場づくり、水辺散策路の整備

元気に楽しく人々が
ふれあえるまちづくり

ハイキング・まちなか散策による地域の
魅力再発見とより楽しく散策できる
環境整備



ハイキングコース及び散策道環境整備に向けた地域住民参加での調査ハイキング
(通称：飯能アルプス編)

★アクションプラン①

「飯能河原の環境整備による市民の憩いの場づくり、水辺散策路の整備」

〔目的〕

市民の憩いの場づくりと地域住民の多様なコミュニティ形成の促進。
来街者に誇れる飯能の名所づくり。

〔取り組み方〕

- ・飯能河原の数十年後を見据えた樹木・花（秋冬）の植栽による景観整備への取り組み。
- ・飯能河原～吾妻峡の水辺散策路の整備への取り組み。
- ・ベンチ、看板等利用する人のためのコンフォール環境の整備への取り組み。
- ・飯能河原の植樹並びに維持活動への地域住民（子ども・女性等）の参加、並びに河原での各種イベント開催による地域住民の交流・親睦促進への取り組み。



「ハイキング&飯能河原BBQ・鍋大会」のイベント開催で地域住民との交流と親睦を深める

★アクションプラン②

「ハイキング・まちなか散策による地域の魅力再発見とより楽しく散策できる環境整備」

〔目的〕

郷土愛の醸成と闊達なコミュニティの形成。
より楽しいハイキング・散策ができる環境整備。

〔取り組み方〕

- ・ 地域住民と一緒にハイキング及びまちなか散策を行うことによる、地域の魅力再発見活動と住民間の交流・親睦を深耕する活動への取り組み。
- ・ 市民はもとより来街者がより快適・安全にハイキング・散策ができるよう、案内MAP、各種看板、道標等の環境整備活動への取り組み。



作成したMAP「飯能ワクワク歩いてみんべえ～」を使ってのまちなか魅力再発見ウォーキングの開催（織物協同組合と屋根のシャチホコの謂れを研修）



子安浅間神社
例大祭 獅子舞



多峯主山

文

第二区地区行政センター ●

御嶽八幡神社 ㍻

アクションプラン②

ハイキング・まちなか散策による地域の魅力再発見とより楽しく散策できる環境整備

文
文

●
●
ドレミファ橋



吾妻峡

●
金蔵院八耳堂 ㍻



龍崖山

飯能地区アクションプランマップ



天覧山



中央公園（アトム象）



宮沢湖

飯能日高消防署

智観寺 祀

市民会館

市立図書館

郷土館

飯能河原

飯能中央地区行政センター

富士見地区行政センター

飯能市役所

東飯能

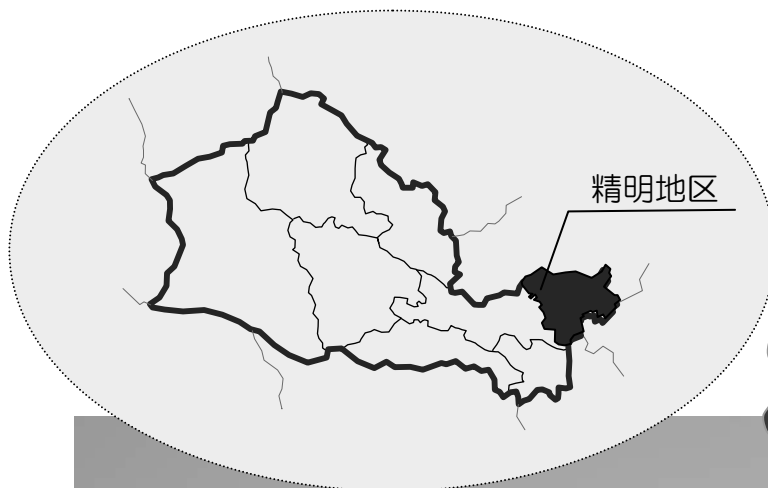
飯能



飯能河原

アクションプラン①

飯能河原の環境整備による市民の憩いの場づくり、水辺散策路の整備



精明地区



コスモスの里まつり

精明地区は飯能市の東部に位置し、田園地帯が広がり、果樹や野菜の栽培が盛んで自然豊かな地区である。

また、ミニ工業団地、大型店舗の進出、阿須小久保線の整備、東飯能駅東口駅前通り線の整備、区画整理事業により双柳地区は大きく変わってきている。

一方、北部に位置する宮沢湖は、平成29年に北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設「メッツァ」が開設予定であり、地域の活性化につながることを期待している。

活動実績

精明地区まちづくり推進委員会は平成12年に発足した。南小畔川のクリーン活動では現在、源氏ホタルが生息し、小魚が群れをなして泳いでおり、また、カワセミ等の野鳥の姿も見られるようになり、河川の浄化と自然環境が蘇っていることが実感できるようになった。

コスモスの里まつりでは、地域住民だけでなく市内外からの来場も年々増え、無料の花の摘み取りや有料であるサツマイモと枝豆の収穫体験が大好評である。

地元農産物の直売も若手農業後継者が出店し、お客様との会話を楽しみながら地元農産物のPRを行っている。また、地区体育協会が開催するウォーキングイベントの昼食会場では、トン汁の接待も行っている。

現状と課題

南小畔川の清掃には各自治会の協力と飯能第一中学校の生徒の参加により、協働意識が芽生え、地域の人たちとの連携の輪が広がり、ボランティアの楽しさを生徒の皆さんが感じることができた。

コスモスの里まつりでは年々来場者が増えているのは大変喜ばしい状況であるが、会場までのアクセスの不便さ、駐車場が無いため農道への路肩駐車、トイレが無いため近くの施設を利用させていただいている等の課題がある。

将来像

住んでいる人も訪れる人も、
安心して心豊かに暮らせるまち

サブテーマ

- 若者も高齢者もいきいきと暮らせるまち
- 豊かな自然と共生するまち

精明地区協働計画「アクションプラン」



将来像

サブテーマ

アクションプラン

住んでいる人も訪れる人も、
安心して心豊かに暮らせるまち

若者も高齢者もい
きいきと暮らせる
まち

豊かな自然と共生
するまち

南小畔川のクリーン活動

コスモスの里まつり

水辺の散策路を花のロードに

南小畔川にホタルを増殖



コスモス畑に種まき

★アクションプラン①「南小畔川のクリーン活動」

〔目的〕

快適な環境づくり、活動を通じて環境を守る意識改革を目指す。

〔取り組み方〕

精明地区まちづくり推進委員と各地域住民（中居自治会・青木第一自治会・青木第二自治会）と飯能第一中学校生徒、PTAとの合同でクリーン活動を行い、生徒や地域住民との協働作業を通じた相互交流を目指す。

また、平成26年度から精明小学校より下流域でのクリーン活動も飯能第一中学校生徒と地域自治会、営農組合の皆さんと共に行っている。



第一中学校生徒とのクリーン活動

★アクションプラン②「コスモスの里まつり」

〔目的〕

地域をコスモスの花でいっぱいにし、地域の皆さんの「集い」と「憩い」の場とする。

〔取り組み方〕

平松、芦荻場地区の土地改良区域内の農地約2haに推進委員、営農組合、飯能第一中学校の生徒の皆さんとコスモスの種を蒔き、また、草取りを行い活動の輪を広げ、コスモスの里まつりを迎える。

まつり当日は地元産の新米をはじめ農産物の販売、サツマイモと枝豆の収穫体験、さつま団子やまんじゅうの販売を行う。

また、子ども達がコスモス畑を描いた絵を集め、精明地区行政センターで展示会を開催する。

★アクションプラン③「水辺の散策路を花のロードに」

〔目的〕

南小畔川の川辺に花を植栽し、癒しの散策路にする。

東飯能駅東口駅前通り線でも植栽を行う。

〔取り組み方〕

南小畔川の川辺にショウブやカキツバタ等、数種類の草花を植栽する。

東飯能駅東口駅前通り線に花壇を作り、双柳花のロード隊として地域住民とともに整備していく。



★アクションプラン④「南小畔川にホタルを増殖」

〔目的〕

南小畔川をホタルの飛び交う環境に整える。

〔取り組み方〕

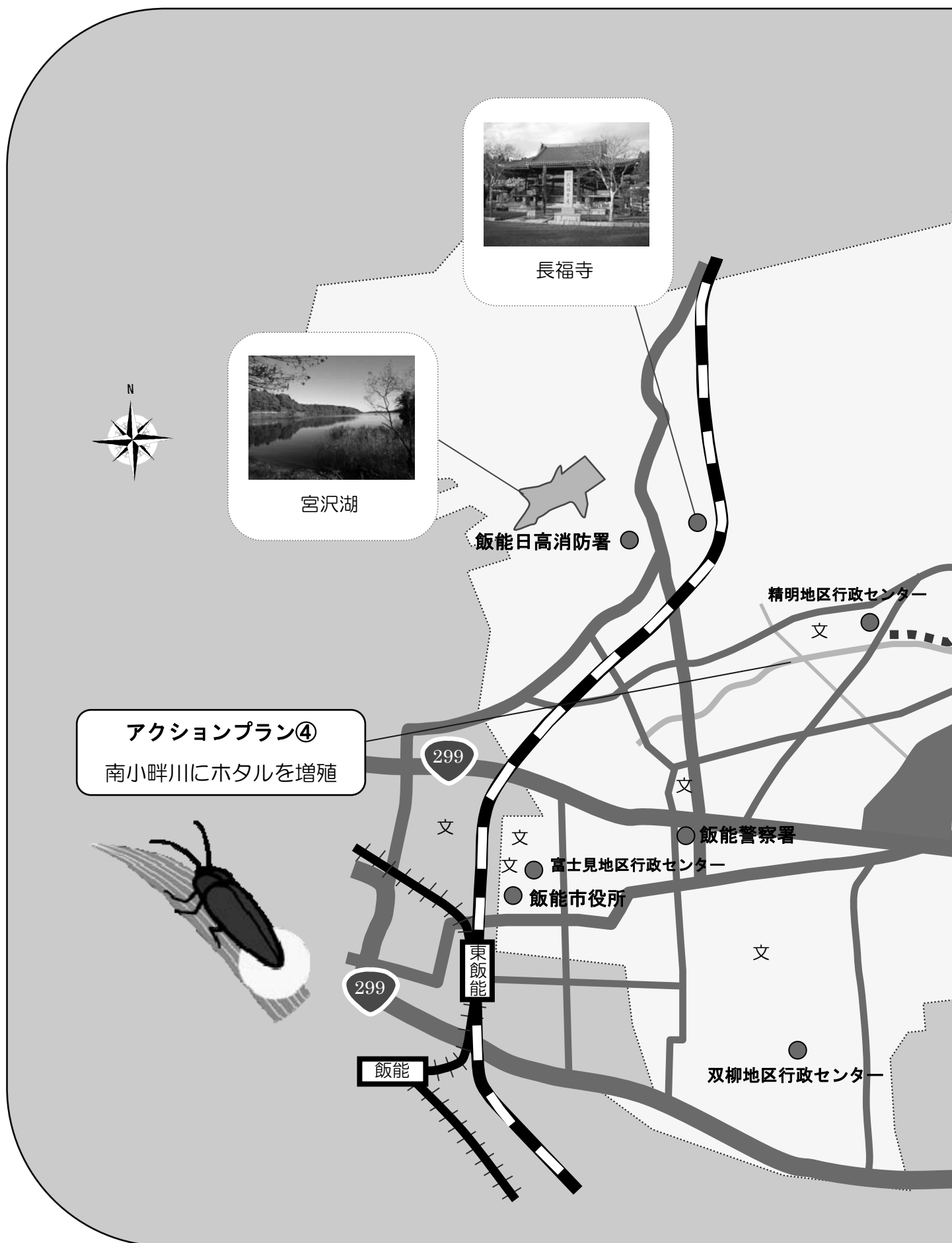
現在生息している源氏ホタルを、餌となるカワニナ（かわにな）の環境バランスを崩さない程度に増やし、幼虫の棲みやすい環境をつくり、生息数を徐々に増やしていく。



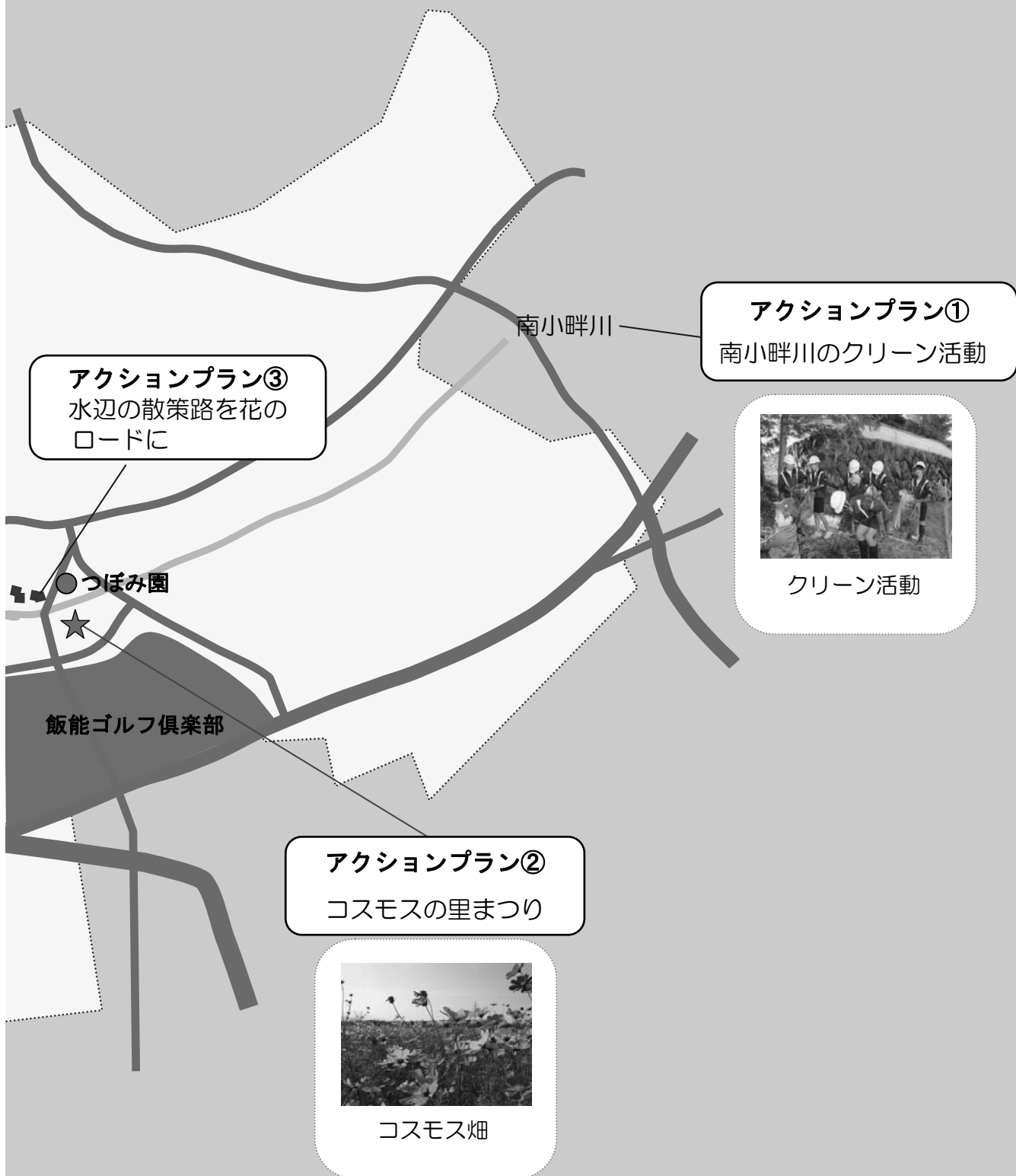
カワニナ



カワニナを放流した南小畔川

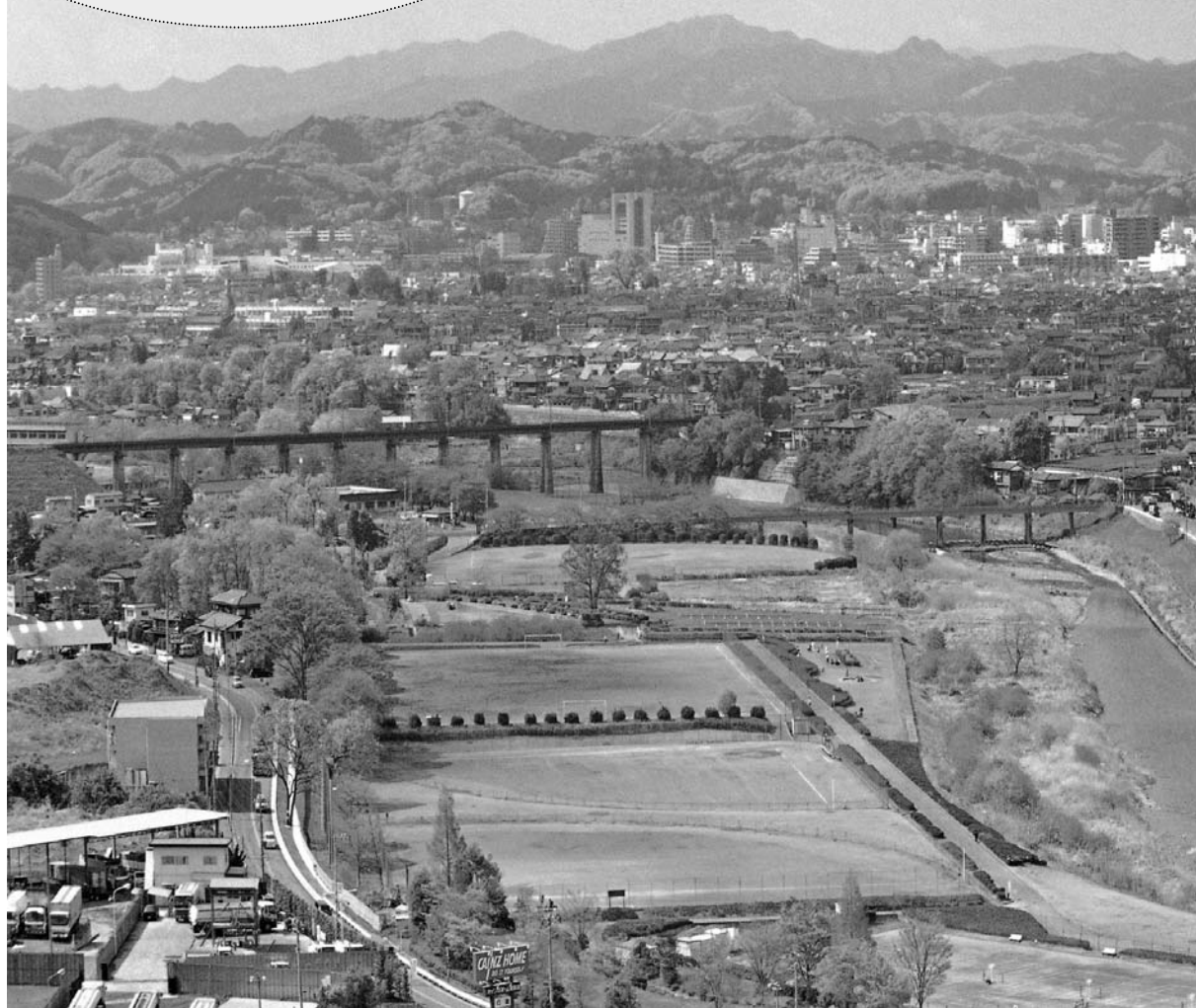


精明地区アクションプランマップ





加治・美杉台



阿須運動公園と入間

本地区は、飯能市の南東部に位置し、自然の豊かな阿須丘陵と清らかな河川などに恵まれた素晴らしい自然環境を有する住宅ゾーンである。

また、幼稚園から大学までの教育施設が整い、阿須運動公園やあけぼの子ども森公園などが所在し、豊かな自然と共生しながら創造性と市民文化を育てる条件がそろっており、次世代を担う子どもたちを健やかに育てるには最高の地区である。

活動実績

加治・美杉台まちづくり推進委員会は、平成12年8月に発足し、これまでアクションプランに基づき、阿須丘陵の散策路づくり事業、さくらの植樹事業、水辺の楽校事業を実施してきた。

また、活動に関連のある別組織「あいわ広場会」が、あいわ広場の整備事業、加治中学校の生徒と協働で「真善美の小径」の整備を実施してきた。

- ・阿須丘陵の散策路づくり事業は、これまでに完成した「あけぼの・桜山・万葉コース」「七国コース」「美杉台・大河原コース」の3つのコースの整備・維持管理を実施し、加治地区行政センターとタイアップして「てくてくウオーク」を企画実行し、地域住民の健康増進と地域のコミュニティづくりに寄与している。
- ・さくらの植樹事業は、これまでに植樹した265本のさくらの木の根元の除草をはじめ剪定、消毒等の維持管理に努めた。管理されたさくらは、春になると華やかな花をつけて人々の目を楽しませてくれる。
- ・水辺の楽校事業では、加治東地区行政センターとタイアップして幼稚園児や小学校低学年を対象に水辺の水生昆虫の観察やピストン釣りをを行い、水に親しみながら河川をきれいにする啓蒙活動を行っている。また、水辺に住む野鳥の観察会等も行い地域住民の交流の場をつくり親睦の和を広げている。
- ・真善美の小径事業は、彼岸花の群生地においては年5回の除草作業と時期には彼岸花の移植を実施し、人々の目を楽しませている。

現状と課題

恵まれた素晴らしい自然環境と教育、文化施設を多数有する本地区は、自然・歴史・文化などの地域資源や、これまでの活動で培ったノウハウや財産を有効に活用し、地域ぐるみの活動として積極的な事業展開を図っている。

特に、平成17年12月から管理を委託された「あいわ広場」を活動の拠点として、地域住民のふれあいの場として利用する事業を企画し、地域コミュニティの維持、向上に寄与させ、魅力的な活力あふれるわくわくした地域づくりを目指す。

将来像

恵まれた自然環境を活かし、
人と文化を育む豊かなまち

サブテーマ

- 散策路を活用した健康づくり
- さくら・彼岸花咲く加治・美杉台のまちづくり
- 川と親しみ、水と楽しむ地域づくり
- あいわ広場を積極的に活用した地域のコミュニティづくり

加治・美杉台協働計画「アクションプラン」



将来像

サブテーマ

アクションプラン

恵まれた自然環境を活かし、
人と文化を育む豊かなまち

散策路を活用した
健康づくり

てくてくウォークの企画

さくら・彼岸花咲く
加治・美杉台のまち
づくり

お花見の企画

川と親しみ、水と楽
しむ地域づくり

水辺の楽校を通じた活動

あいわ広場を積極
的に活用した地域
のコミュニティづ
くり

あいわ広場でのオープンマーケット
の企画



植樹したさくら

★アクションプラン①「てくてくウォークの企画」

〔目的〕

「あけぼの・桜山・万葉コース」「七国コース」「美杉台・大河原コース」等のコースを使い、てくてくウォークを企画して地域住民の健康増進を図る。

〔取り組み方〕

加治・美杉台地区の各地区行政センター及び関係団体と協働して企画運営する。

★アクションプラン②「お花見の企画」

〔目的〕

地域住民の交流を図り親睦を深める。

〔取り組み方〕

関係団体と協働して春はさくら、秋は彼岸花と年2回企画運営して行く。



←入間川に植樹した
265本のさくら

満開の彼岸花→



★アクションプラン③「水辺の楽校を通じた活動」

〔目的〕

入間川を中心に水生生物及び野鳥の観察を通してきれいな水の大切さを認識してもらう。

〔取り組み方〕

幼稚園児や小学生低学年を対象として、川や川辺と親しみ楽しみながら水の大切さを学んでもらい、併せて同伴の保護者にも認識していただく機会とする。

★アクションプラン④「あいわ広場のオープンマーケットの企画」

〔目的〕

あいわ広場を積極的に活用する企画を行い、人々のふれあえるわくわくした地域づくりを推進する。

〔取り組み方〕

地域のにぎやかな場所にするため、オープンマーケットを開催して元気なわくわくする地域づくりに貢献する。



観光客で賑わうあいわ広場と入間川

阿須丘陵ハイキングコース あけぼの・桜山・万葉コース

全長4.5km 1時間30分

アクションプラン①

てくてくウォークの企画

あけぼの
子どもの森公園

市民球場

市民体育館

スタート
ゴール

ホッケー場

阿須運動公園

岩沢河原

加治東小

岩沢運動公園

円照寺

元加治駅

現在地

アクションプラン③

水辺の楽校を通じた活動



元加治駅	5分	上橋	12分	市民球場 市民体育館 ホッケー場	徒歩での 所要時間
	10分	郵便局	7分	阿須運動公園	
		阿岩橋経由		15分	長澤寺

加治・美杉台アクションプランマップ

アクションプラン④

あいわ広場のオープン
マーケットの企画

阿須丘陵ハイキングコース 七国コース

全長10km 3時間

三角点見晴台



岩蔵温泉

赤城神社

長澤寺

スタート
阿須自治会館

ゴール

阿須交差点

加治中

飯能南高

飯能市林業センター

加治橋

美杉台

美杉台公園
多目的グラウンド

飯能大橋

飯能駅南口

加治小

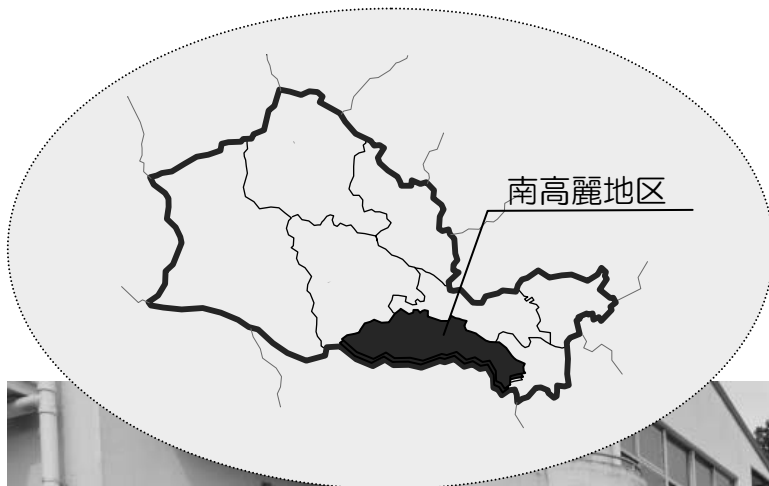


真善美の小径



ゆうひ山公園入口

加治・美杉台まちづくり推進委員会



南高麗地区



平成27年度飯能新緑ツーデーマーチ南高麗接待運営委員一同

南高麗地区は、飯能市街地の南西に位置し、東西約9 km、南北約4 kmの細長い形状をした、中山間地と呼ばれる地域で、西の山間部には市指定天然記念物のモリアオガエルが生息し、東部には同じく市指定天然記念物のカタクリやイカリソウが早春に花開くなど、豊かな自然を有している。

また、縄文時代の住居遺跡が点在し、江戸城天守閣造営の際に必要な、消石灰の生産の場となった石灰焼場跡や、現存する曹洞宗の本堂としては最も古い長光寺の本堂があるなど、この地には長い歴史と、その歴史に醸し出された豊かな生活文化がある。

年に一度の大運動会や文化祭の時期になると、住民総出で盛り上がり、人々の心の中に郷土愛の溢れる地域でもある。

活動実績

南高麗地区まちづくり推進委員会は平成 12 年 11 月に発足し、これまでアクションプランに基づき、IT、イベント、ふるさと、夢農場、子ども・学校応援の各実行委員会によるさまざまな活動を展開している。

- ・IT実行委員会は、HPの作成や更新、普及等、南高麗地区の情報発信源としての活動を行っている。また、地区内で行われる行事を撮影し、写真記録に努める一方、昔の写真をデジタル記録する活動を行っている。
- ・イベント実行委員会は各種イベントを企画・実行し、地区住民の交流の場を作っている。ツーデーマーチと地区文化祭での売店運営、会員の親睦を図る納涼会、研修旅行も実施している。
- ・ふるさと調査実行委員会は、ハイキングコース設定とコースの道標整備、主だった山頂に石の標識を立てる活動を行い、7 基立てることが出来た。
- ・夢農場実行委員会は、会員が自ら農作物をすることにより、衰退しつつある南高麗の農業に対する理解を高め、作業を通じて会員相互の協力体制の強化に役立っていると思われる。具体的には、小中学校の児童・生徒と農業体験実習を実施し、作付けと収穫の喜びを共有している。また、南高麗の花いっぱい活動で植えたミツバツツジの管理も継続し行っている。
- ・子ども・学校応援実行委員会を平成 22 年度に立ち上げ、継続して活動している。これは「子どもは地域の宝」という言葉があるように、将来少しでも地域に留まり、この南高麗地域において活躍する子どもたちの成長を見据えて、学校行事にも協力し、地域の活性化を図る活動として行っている。

現状と課題

恵まれた自然を維持するために必要な人的資源の減少により、今後、地域の環境保全は難しいと感じている。

この現状を打破するためには、元気で経験豊富な高齢者が地域の活動に主体的かつ積極的に関与することが必要である。したがって、高齢者が意欲的に取り組める魅力的な活動の創出が急務である。また、どうすれば若い世代が南高麗地区に留まるか、その方法を地区全体で考える必要にも迫られている。その先駆けとして、地域を挙げて子ども会や学校行事への協力を行い、将来的な地域の担い手の確保を目指して活動していく必要がある。

南高麗地区は、市街化調整区域であることから、住宅の建築が制限されているが、平成 28 年度から“農のある暮らし”「飯能住まい」制度が導入され、農地の有効利用により住宅が増えることに合わせた人口増加が期待できる。この制度が確実に定着するためには、地区の人々の農地有効利用への理解が必要である。

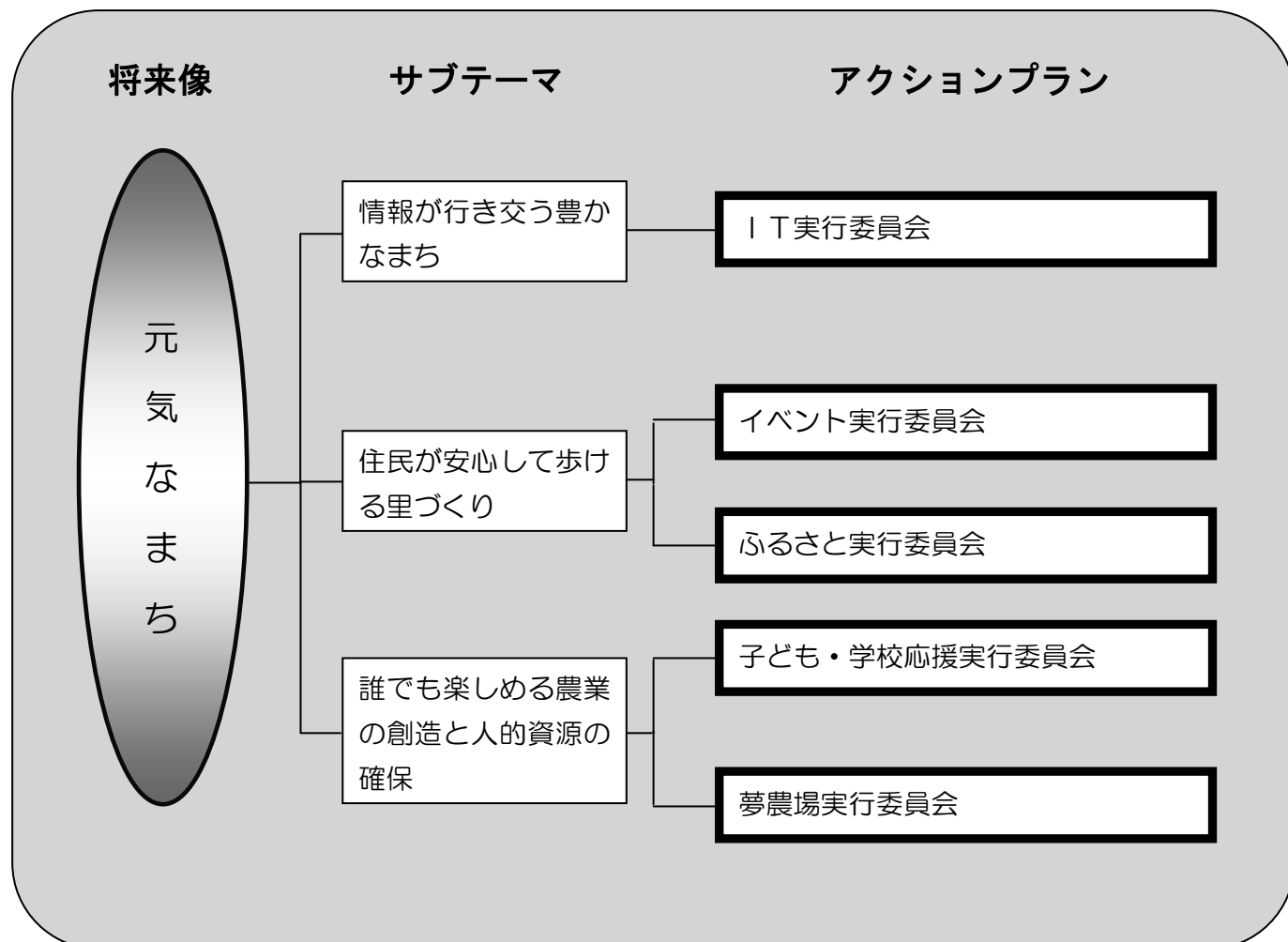
将来像

元 気 な ま ち

サブテーマ

- 情報が行き交う豊かなまち
- 住民が安心して歩ける里づくり
- 誰でも楽しめる農業の創造と人的資源の確保

南高麗地区協働計画「アクションプラン」



文化遺産写真記録事業
【弁天橋】



萩の里づくり植樹参加
平成27年

★アクションプラン①「IT実行委員会」

〔目的と取り組み〕

高度情報化社会への変遷に伴い、南高麗地区ではITメディアを利用し、地区内の情報を共有化することで、南高麗地区の一体感を向上させている。

同時に、地区の発展に役立つ地区外の情報の収集も平行して行う。

今後も引き続き南高麗地区まちづくり推進委員会ホームページの運営や初心者向けのパソコン講習会を実施していく予定。

HPを使って行事をPRし、参加を募る方法を導入する。

古い写真をアーカイブスとしてデジタル記録保存する活動を行う。

ホームページの名称は「おいでなすって南高麗」

★アクションプラン②「イベント実行委員会」

〔目的と取り組み〕

地区住民が安心して暮らせるまちをつくっていくためには、住民が直接顔を合わせ、言葉を交わす機会を設けることが重要である。

文化祭やツーデーマーチ、健康づくりのワンデーウォーク、収穫祭等、人と人とがふれあう機会を可能な限り多く創り、将来像である「元気なまち」を目指して活動を進めていく。

売店運営は、携わる人を確保する課題を解決しつつ、今後も実施していく。



飯能新緑ツーデーマーチ売店運営
平成27年



まちづくり計画話し合い
平成27年

★アクションプラン③「ふるさと実行委員会」

〔目的と取組み〕

南高麗地区の恵まれた自然に、地区の内外を問わず多くの人にふれていただくために山道の整備を行う。

南高麗全域のハイキングコース整備はほぼ終わったが、さらなる調査を行い、出来るだけ多くのコース整備を行う。また、公民館（地区行政センター）や体育協会と連携して作り上げたハイキングコース 10 コースも両者とのタイアップ事業で活用していく。



石標設置事業
平成 26 年

★アクションプラン④「子ども・学校応援実行委員会」

〔目的と取組み〕

「子どもは地域の宝」という言葉があるように、若い世代の南高麗地区からの流出を防ぎ、地域の担い手を確保していかなければならない。

将来もこの地域に留まり、地域の良さを理解し、南高麗地区で活躍する子どもたちの成長を見据え、地域を挙げて子どもや学校行事に協力することで地域の活性化を図る。



小学生と一緒に田植え
平成 27 年

★アクションプラン⑤「夢農場実行委員会」

〔目的と取組み〕

農業を通して多くの仲間をつくり、農業への理解を深め、誰でも楽しめる農業を目指し、南高麗を農業で賑わう地にしたいと考えている。また、多くの仲間を募るため地区外賛助会員制度も取り入れている。

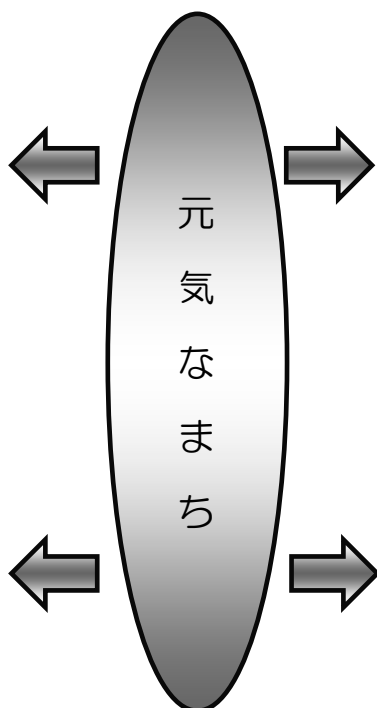
恒例となっている地区の小中学生との農業体験実習や地区の小中学校や福祉センター等へ収穫した農作物の提供を行う。ミツバツツジの管理については所期の目的を達成したので、縮小を検討する。

下畑の穴郷（あなご）という土地は、魅力的な里山であり、夏はホタルが飛び交うことから、ホタルの調査を行う。併せてこの地に「花とホタルのハイキングロード」設定の検討を行う。

市全体で計画している「萩の里づくり」の一環として「萩」植栽地としても位置付けたい。



苧生夢農場ジャガイモ植栽手入れ
平成27年



各アクションプランを推進するうえで、活動モデルを次のとおり示す。

南高麗地区まちづくり推進計画 活動モデル1

南高麗地区の交流人口を増やすため、里山・人・仕事を結びつける「里山親民」の定着化を目指す。

- ・地区に有る環境や施設をそのまま活用して、通年人を呼ぶ事業の実施を検討する。
- ・里山体験イベントを開催する。

【 1月～12月年間行事例 】

- 1月 餅つきと七草料理・猪鹿鍋
- 2月 きのこと菌打ち（椎茸・なめこ）
- 3月 野菜の種まき・野草教室
- 4月 花見ハイキングと田舎料理
- 5月 ダイコン種まき・サツマイモ苗植え
- 6月 梅の収穫と梅干・梅酒づくり
- 7月 野菜の収穫・しそジュースづくり
- 8月 お祭り参加・川遊び
- 9月 稲刈りと収穫祭
- 10月 山仕事・ほだぎ・きのこ狩り
- 11月 たき火と焼き芋
- 12月 かどまつ・リースづくり

【事業推進のキーワード】 事業を進めるための視点

農ある暮らし「飯能住まい」に連動したまちづくり計画を具現化するには地域の総合力を持ってあたる。

- ・協力体制による共同体組織の活動：できる所から始める
- ・存在環境施設の活用：有るもの探しからの発想
- ・イベントごとに独自性を持たせる：やりたい事に工夫を凝らす
- ・行政の協力：埼玉県や飯能市の許可と支援を得る
- ・地域の協力と連帯：地区の人たち・各団体や組織との連携
- ・開催時期：タイムリーな企画が必要
- ・エコツーリズムによる事業：主体は主催者
- ・利益をしっかりと上げることが必要：収支決算を確認する
- ・地域の交流市場：野菜や特産物の販売所を設け、地域内外の交流を図る



南高麗地区アクションプランマップ



アクションプラン①

IT実行委員会



岩井堂観音



イカリソウ群生地



カタクリ群生地

遊歩道整備

クリーンセンター

畑トンネル

コミュニティ広場

畑神社

岩井堂観音

歓喜寺

八幡神社

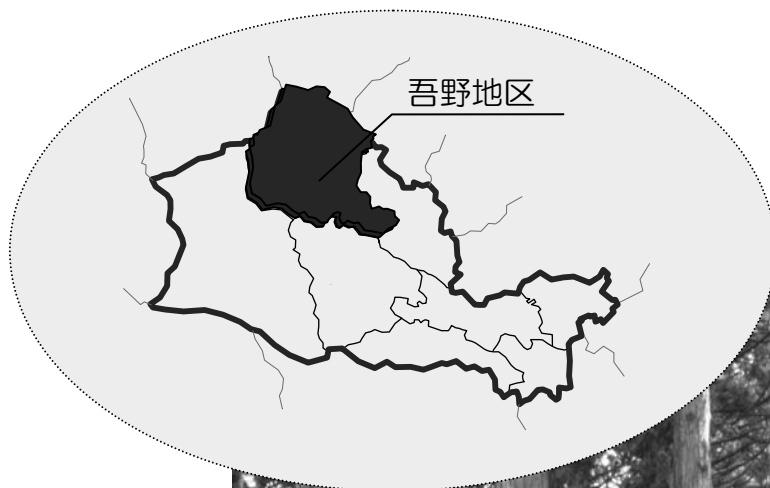
妙圓寺

遊歩道調査

どうどの滝

アクションプラン②

イベント実行委員会



吾野地区



森林浴で巡る季節を楽しもう

吾野地区は、飯能市内の北西に位置し、豊かな森林と清流「高麗川」を源流とした恵まれた自然環境の中に歴史と文化が息づくまちである。

地区内には、高山不動尊や東郷公園、伊豆ヶ岳、正丸峠などがあり、吾野道は、子ノ権現、顔振峠への登山口となり、1年を通してハイキングや川遊び等の多くの観光客が訪れる地区である。

人口減少に負けない、豊かで元気な地域の創造を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

活動実績

本地区まちづくり推進委員会は、平成 11 年 11 月に発足し、これまでアクションプランに基づき、恵まれた自然環境を保全し、魅力的な地域づくり事業を展開してきた。

- (1) ふれあいベンチ設置事業
- (2) じゃがいも・のらぼう街道づくり事業
- (3) 旧南川・北川小学校跡地の有効使用に関する提言と要望を市に提案
- (4) 高麗川源流保全施設事業・年 3 回、草刈り及び清流清掃作業を実施
(1 回は中学生と共同体験作業)
- (5) 花いっぱい吾野道事業
 - ・吾野の街道沿い…クルメツツジ(6,000 本)
 - ・正丸峠…ミツバツツジ(60 本)、ドウダンツツジ(70 本)、リュウキュウツツジ(80 本)、クルメツツジ(100 本)
 - ・高山展望台…ドウダンツツジ、カルミア(100 本)
 - ・刈場坂ツツジ山…ミツバツツジ、ヤマツツジ、ドウダンツツジ、ヤマモミジ(150 本)
- (6) 昭和天皇陛下行幸記念碑、明仁親王殿下・美智子妃殿下行啓記念碑建立
- (7) 高麗川源流保全之碑建立
- (8) 奥武蔵ハイキングコース周辺景観整備事業
 - ・伊豆ヶ岳、大高山、ツツジ山、高山展望台景観保持のための間伐と草刈
 - ・石材による、道標・案内碑の設置(高山展望台、伊豆ヶ岳、大高山)
- (9) 吾野名物の開発事業

現状と課題

当地区は、豊かな自然環境、また、歴史・文化・観光などの地域としての資源も多く持ち合わせている。しかし、その資源の活用という点に於いては、私たちの力では、手を付けられなかった所が山積しており、力強い行政の指導施策が必要である。商店の数が減り、若者が市街地に出て行き、高齢化は予想以上に進んでいる。元気な吾野を取り戻すために、そして誰もが安心して健康的に生活できる地域づくりを目指し、「できることを一つずつ」実践していきたい。

将来像

森林と清流 共に人を拓く ふれあいのまち ー吾野ー

サブテーマ

- みんなでつくろう 心が和む景観と環境づくり
- みんなで考えよう ものづくり
- みんなで守ろう 緑と清流

吾野地区協働計画「アクションプラン」



将来像

森林と清流 共に人を拓く
ふれあいのまち ― 吾野 ―

サブテーマ

みんなでつくろう
心が和む景観と環境づくり

みんなで考えよう
ものづくり

みんなで守ろう
緑と清流

アクションプラン

蘇れ奥武蔵ハイキングコース周辺景観整備

歴史を楽しむ吾野道づくり

おらがふるさと吾野名物の開発

高麗川源流保全と自然観察路の整備

高麗川支流の整備



福寿草 2月



シュンラン 3月



アズマイチゲ 3月



カタクリ 4月



ニリンソウ 4月



ヒトリシズカ 4月



イワウチワ 4月



ミツバツツジ 4月



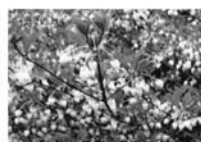
山桜 4月



ヤマブキ 4月



ヤマツツジ 4月



ドウダンツツジ 5月



ジュウニヒトエ 5月



シャガ 5月



ウツギ 6月



ホタルブクロ 6月



イワタバコ 8月



ホトトギス 8月



カラスウリ 8月



シュウカイドウ 9月

素朴で美しい野辺の花

★アクションプラン①「蘇れ奥武蔵ハイキングコース周辺景観整備」

〔目的〕

吾野地区は、豊かな自然環境に恵まれ、訪れる観光客も多い。
ハイキングコースを整備することにより、より多くの人に吾野の良さを知ってもら
うと共に、地元の人達の散策コースとして健康づくりに役立てたい。

〔取り組み方〕

- ・対象とするハイキングコースの選定と場所の確保
- ・整備する範囲は、概ねハイキングコースの両脇 30m 程度とし、間伐、枝打ち及び
伐採と展望台の設置
- ・土地所有者の把握と承諾の交渉
- ・整備後の案内板の設置

★アクションプラン②「歴史を楽しむ吾野道づくり」

〔目的〕

歴史ある吾野道、西川材使用の歴史的建造物や地域（吾野宿等）の保全、国道や名
所旧跡につながる道沿いに花を植えることにより、心の和む地域づくりを醸成し、併
せて交流人口の増加と新たな観光事業を推進する。

〔取り組み方〕

- ・国道299号及び名所旧跡につながる道路への植栽・歴史的建造物、地域の調査保全
- ・植栽する花木の選定、業者への発注
- ・地区ごとに担当者を決めて植栽
- ・植栽後の草刈り等の維持管理



気軽な森歩き

★アクションプラン③「おらがふるさと吾野名物の開発」

〔目的〕

吾野の食・工芸文化を再認識しながら、潜在的な資源を掘り起こし、地元の食材と木材を利用した品物を開発し、地元のイベントや観光客に提供し収益源とする。

〔取り組み方〕

- ・地元でできる食材・木材の調査・研究
- ・会員が研究開発した完成品の報告、展示会等の実施
- ・製造方法等の検討と整備
- ・販売体制の確立と情報の発信



★アクションプラン④「高麗川源流保全と自然観察路の整備」

〔目的〕

高麗川の源流を探索し「保全の碑」を建立した。毎年3回この碑の周囲1 kmに渡り草刈りを実施している。清流の保全を次代の人達にも引き継ぎたいとの願いもあり、そのうちの1回は中学生との共同作業としている。今後は、自然観察路の整備をする。

〔取り組み方〕

- ・自然観察路の整備・植樹・草刈り
- ・中学生の自然体験学習の場の提供



川遊び

★アクションプラン⑤「高麗川支流の整備」

〔目的〕

吾野地区を流れる高麗川は最近一時よりも水質が良くなっている。これは地域住民の「緑と清流」に対する意識が高まったためだと思われる。しかし、その支流の沢には、雪折れの木が重なり、沢沿いの道も荒れているところが多く見られる。水質を保全すると共に、森の中で心地よい自然観察の体験ができる、また、ハイカーからも満足できる高麗川としてレベルアップを図っていきたい。

〔取り組み方〕

- ・整備する場所の選定
- ・土地所有者の把握と整備承諾の交渉
- ・作業計画の策定

～吾野地区再生重点事業～

吾野地区における持続可能な地区再生を具体化するため、以下の3つをキーププロジェクトとする。

重点事業1 廃校となっている旧北川小学校、旧南川小学校の再生利用

重点事業2 吾野宿さんぼ街道

重点事業3 空き古民家の活用による都市住民との交流

廃校となっている旧北川小学校、旧南川小学校の再生利用

★旧北川小学校

明治7年創立。校舎は大正10年建設

国道299号から入った場所

【再生イメージ】

- ・地区外との交流拠点
- ・ギャラリー、コンサート
- ・林業技術研修
- ・地場産品販売
- ・エコツアーの拠点



★旧南川小学校

明治7年創立。平屋校舎は明治37年建設

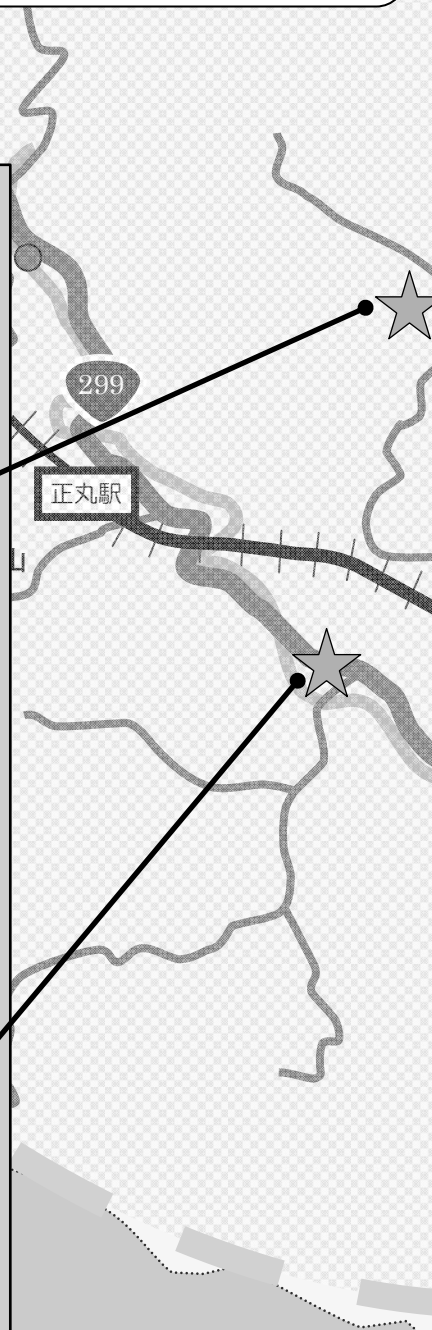
2階建て校舎は昭和13年建設

国道299号の近傍に立地

エコツアーを実施、撮影の舞台などに

【再生イメージ】

- ・生活文化体験
- ・むかしの暮らし・あそび体験
- ・給食・郷土食レストラン
- ・自然食販売（パンなど）
- ・地場産品販売・実演
- ・エコツアー、自然体験の拠点
- ・小学校の遠足利用など



自然と歴史、生活文化を活かした 持続可能な地域づくり(吾野地区モデル)



空き古民家の活用による都市住民との交流

- ・空いている古民家などを改修し、週末別荘、週末工房として貸し出し
- ・農地の貸し出し
- ・草刈り等への都市住民の協力
- ・作品等は旧南川小学校、旧北川小学校、吾野宿さんぽ街道などで展示・販売
- ・移住への支援
- ・エコツアーの拠点



吾野宿さんぽ街道

平地と秩父を結ぶ街道の宿場町

古民家が残る

東吾野駅、西吾野駅に近接、ハイキングコースに位置

【再生イメージ】

- ・散策環境の整備（樹木の植栽・休憩施設の整備・間伐材による修景・車両の進入制限等）
 - ・食の提供、地場産品販売
 - ・スペースの提供（作品等の販売等）
 - ・駐車スペースの確保・トイレの整備
 - ・誘導看板の設置
 - ・エコツアーの拠点
- 



高麗川

大高山

アクションプラン④
高麗川源流保全と自然
観察路の整備

昭和天皇陛下行幸
明仁親王殿下・美智子妃殿下行啓
記念碑

アクションプラン①
蘇れ奥武蔵ハイキング
コース周辺景観整備

アクションプラン②
歴史を楽しむ吾野道づ
くり

アクションプラン③
おらがふるさと吾野名
物の開発



吾野地区アクションプランマップ



奥武蔵グリーンライン



関東に誇る杉樹林

関八州見晴台



高山不動尊の
大イチョウ
(県指定天然記念物)

西吾野駅

吾野地区行政センター

文

休暇村奥武蔵

東郷公園



我野神社の檜

吾野駅

文 文

大高山

高麗川

高麗川の源流となるせせらぎは
ツツジ山をおおぐ深谷にそそぐ
清流は吾野の林間を蛇行し
荒川に至る流水の歴史を刻みつつ
小さないのちを育み
人びとの春秋の営みを支えてきた
森と水の優美な自然を守るために
源流の環境保全を次世代に継承し
遠く高句麗にゆかりする高麗川を
清流を流れとしなければならぬ

高麗川源流保全碑文

茅原 健 撰文

私たちは、郷土吾野の巨木・樹林の調査を行い、
銘木 120 本を選定いたしました。一部写真を提示
いたします。森林文化都市として、さまざまな観
点から森林の役割を十分に感じ取っていただき、
何世代にも渡り育てた樹木は、私たちの手で大切
に保護し、未来への財産として継承したいもので
す。

アクションプラン⑤

高麗川支流の整備



東吾野地区

東吾野地区



福德寺阿弥陀堂（国指定重要文化財）

東吾野地区は飯能市の北部に位置しており、良く手入れされた杉、檜の美林と高麗川の清流、「ほたる」の飛び交う支流もあり、恵まれた自然環境の中に位置している。

また、歴史文化遺産も多々あり、四季をとおして、地区外から訪れる人達も多く、山里風景の美しい郷である。

少子化、高齢化、人口減少は避けられない現実であるが、各大字を中心にして、地域振興の活動は活発に行われている。

また、隣近所での交流は盛んで、お互いに助け合う土壌は、先人から受け継がれており、心豊かな「ほっこり」した地域である。

活動実績

東吾野地区まちづくり推進委員会は、幾つかの専門部会を立ち上げ、活動を展開している。広報部会では「おらがんち」での情報発信、健康づくり部会では「地域を歩こう」、食文化伝承部会では「もちつき」「豚汁づくり」、文化遺産部会では地域の隠れた「文化遺産の確認」等々が実施され、それぞれで実績をあげている。

平成27年度より「まちづくり推進委員会」と「ふくしの森・東吾野」の組織を統合し、より地域の実情に合わせた活動を展開することとした。組織の統合により、より多くの地域の人達の協力が得られるのと、「地域づくり」を「点」としてではなく、「面」としての広がりが見えてきている。

現状と課題

東吾野地区は、心暖かい、人情味のある穏やかな山里である。近隣との連帯感も厚く、お互いに助け合って生活していく「心くばり」の育まれている地域といえる。歴史遺産も多々あり、良く手入れされた美林にも囲まれ、自然環境に恵まれた地域でもある。古くから訪れる人達も多いが、最近では地域で「エコツーリズム」も実施され、地域の価値観が見直されてきている。

また、農林産物の販売も一部で行なわれており、高齢者の生きがいにもつながっている。課題は山間地域の共通の問題であるが、少子化、高齢化、それにともなう人口減少と、自然災害に対する対応が地域の大きな課題である。

また、合わせて「空き家対策」「耕作放棄地の増加」「日用品や食材の確保」等々が課題として浮き上がってくる。

「まちづくり推進委員会」や「山間地域振興計画」、「ふくしの森・東吾野」等々で、培われた組織をより進展させ、行政との協力体制をより強固にしていかなければいけないと思っている。

また、この地に住む私達自身の責任として「自分たちの地域を自分達で」「自分達で出来ることは自分達で」を合言葉として、「地域づくり」に取り組んでいくこととしたい。

将来像

安心して住みやすく、心豊かな人情あふれる
「ほっこり」した、山里風景の美しい郷

サブテーマ

- 地域づくりの情報の発信
- 地域の資源の活用と食文化の伝承
- 高齢者の生きがいと少子化への対応
- 地域文化遺産のまとめと継承
- 自然災害等に対する対応

東吾野地区協働計画「アクションプラン」



将来像

安心して住みやすく、心豊かな人情あふれる
「ほっこり」した、山里風景の美しい郷

サブテーマ

地域づくりの情報の
発信

地域の資源の活用と
食文化の伝承

高齢者の生きがいと
少子化への対応

地域文化遺産のま
とめと継承

自然災害等に対する
対応

アクションプラン

「おらがんち」の発行、全戸配布
年2回発行する<予定>

ほっこりまつりの開催

エコツーリズムの実施

地元野菜の活用<豚汁づくり>

餅つきの伝承

農林産物の販売

ほっこりまつりの開催

各地区での「ふれあいサロン」の実施

支えあい活動と地域の見回り活動

空き家対策への協力

「故郷に帰ろう」キャンペーン

地区毎の歴史、自然文化遺産のまとめ

「地域を歩こう」「地域を知ろう」の活動

東吾野50の「おらが自慢」の選定と継承

自治会との協力体制の構築

防災組織づくりへの協力

★アクションプラン①「【おらがんち】の発行」

〔目的〕

地域づくりの情報発信

〔取り組み方〕

広報委員会を組織し、広報紙を発行する。全戸配布。

★アクションプラン②「【ほっこりまつり】の開催」

〔目的〕

地域振興と住民相互のふれあい

〔取り組み方〕

11月23日実施。各地区から屋台の出店。公民館活動グループの出演、健康相談等々。
将来は地域最大のイベントを目指す。

★アクションプラン③「エコツーリズムの実施」

〔目的〕

地域資源の活用と地域の魅力発見

〔取り組み方〕

既に実施されており好評である。今後は実施者の増加と質の高さを目指していく。

★アクションプラン④「地元野菜の活用」

〔目的〕

地域資源の活用

〔取り組み方〕

敬老会、体育祭、地域を歩こう等に「豚汁」サービス。

★アクションプラン⑤「餅つきの伝承」

〔目的〕

食文化の伝承

〔取り組み方〕

お正月用の餅つきを実施。＜消防団の協力＞ 子供達との餅つき大会。

★アクションプラン⑥「農林産物の販売」

〔目的〕

地域資源の活用。高齢者の生きがい

〔取り組み方〕

地域毎に販売体制を構築する。

★アクションプラン⑦「ふれあいサロンの実施」

〔目的〕

地区住民相互の連携、親睦

〔取り組み方〕

地区毎に年3～4回実施する。

★アクションプラン⑧「支え合い活動と地域の見回り活動」

〔目的〕

高齢者への配慮及びこころくばり

〔取り組み方〕

畑の草刈り、庭木の手入れ及び散歩時の地域の見回り、声掛け等の心くばり。

★アクションプラン⑨「空き家対策への協力」

〔目的〕

空き家対策と人口対策

〔取り組み方〕

行政との協力体制を構築する。

★アクションプラン⑩「【故郷に帰ろう】キャンペーン」

〔目的〕

人口減少と少子化対策

〔取り組み方〕

個人的な問題でもあるが、「家を頼むよ」と親子で話し合えるような話題の提供。

★アクションプラン⑪「地区毎の歴史、自然文化遺産のまとめ」

〔目的〕

地域の歴史、文化遺産の伝承

〔取り組み方〕

アクションプランに基づき実施した各地区の歴史、自然文化遺産の調査結果をとりまとめる。

★アクションプラン⑫「【地域を歩こう】【地域を知ろう】」

〔目的〕

地域の再発見と健康づくり

〔取り組み方〕

体育協会との連携。地域を皆でハイキング。健康づくり。

★アクションプラン⑬「東吾野５０の【おらが自慢】の選定と継承」

〔目的〕

地域の再発見と継承

〔取り組み方〕

「おらが自慢」を地域で選定し、東吾野歴史自然文化遺産の５０を選定し継承する。

★アクションプラン⑭「自然災害等への対応」

〔目的〕

安心、安全な地域づくり

〔取り組み方〕

自治会との協力体制を構築する。

アクションプラン⑤

餅つきの伝承

アクションプラン⑥

農林産物の販売

アクションプラン⑦

ふれあいサロンの実施

アクションプラン⑧

支え合い活動と地域の
見回り活動

アクションプラン⑨

空き家対策への協力

アクションプラン⑩

「故郷に帰ろう」
キャンペーン

アクションプラン⑪

地区毎の歴史、自然文化
遺産のまとめ

アクションプラン⑫

「地域を歩こう」
「地域を知ろう」

アクションプラン⑬

東吾野50の「おらが自
慢」の選定と継承

アクションプラン⑭

自然災害等への対応

顔振峠



諏訪神社



地藏院

299

文

文

吾野



忠魂碑

東吾野地区アクションプランマップ



アクションプラン①

「おらがんち」の発行

アクションプラン②

「ほっこりまつり」
の開催

アクションプラン③

エコツーリズムの実施

アクションプラン④

地元野菜の活用



ユガテの森



福德寺
阿弥陀三尊立像



菅公像



長念寺
木造聖観音
菩薩坐像

東吾野地区行政センター

東吾野

文



興徳寺



宝篋印塔



原市場地区



原市場の森

本地区は豊かな森林や清らかな河川などに恵まれた自然環境を有する飯能市の中央部に位置する地区である。

中山間地域である本地区は、少子高齢化が進み、高齢者世帯などが多く点在する状況が特徴の一つであるが、元来自分達の地域は自分達で何とかしようとする気概を持つ風土で、飯能市内でも住民活動の活発な地域である。

地域の中心部を流れる名栗川や中藤川、中沢地区の子ノ権現や竹寺等の観光資源もあり、行楽シーズンには多くの観光客の訪れる地区である。近年、行政と地域の協働により「原市場の森」が整備され、地域活性化のシンボルとなっている。

活動実績

原市場地区まちづくり推進委員会は、平成10年8月に発足し、アクションプランに基づき、下記の事業を実施してきた。

- ・「四季を感じる歩こう会事業」は、健康づくりと合わせて生活の場である地域を見つめ直す良い機会とすることを目的としている。
- ・「花のあるまちづくり事業」では、自治会と連携し、通学路や歩道沿いに花木（サツキ）や草花を植え、花を生かした景観づくりを展開している。
- ・「蛍の里づくり事業」は、蛍の観賞会や餌となるカワニナの飼育・放流を行っている。また、清流保全への関心づくりや理解の向上の普及に努めている。
- ・「木の文化を伝える事業」では、木の暖かみや優しさ等、様々な木の特性を生かし、子どもたちに伝える「親子木工教室」などを実施している。
- ・「子ども達と原市場を元気にする事業」では、子ども達といっしょに、原市場を元気にするには何が必要か考え実行する事業で、原市場の森を舞台に自然観察会や植樹などを、地域の諸団体と連携して行っている。
- ・「原市場いきいき広場管理事業」は、「子どもたちが安心して遊べる広場を」という要望を受け、福祉センターに隣接した土地に開設した。遊具を設置し、幼児・児童の憩いの場となっている。
- ・「いきいき原市場まつり事業」は、主会場となる原市場中学校が授業として参加するなど、子どもから高齢者まで世代を超えて地域の交流を深め、活性化を図るため、毎年11月に開催している。毎回2,500人程の住民参加があり、地区体育祭と並ぶ二大イベントとして定着した。

現状と課題

恵まれた自然環境の中で少子高齢化が進む本地区では、自然・歴史・文化などの地域資源を有効に活用し、世代間・地域間を超えたコミュニティ活動の展開を図る。

様々な事業活動を通して地域の魅力を再認識し、地域への愛着と誇りをもって定住できるよう、地域づくりへの意欲の向上を推進する。

このような地域住民主体の活動によりコミュニティの維持・向上を図り、お互いに住みよい活力ある地域づくりを目指す。

将来像

自然とまちがそこにある豊かなふれあい
—いきいき原市場—

サブテーマ

- | | |
|----------------|-------------------|
| ○心がかようまちづくり | ○活力あるまちづくりをはかろう |
| ○緑と清流の保全をはかろう | ○住みよい環境づくりをすすめよう |
| ○世代を超えた交流をはかろう | ○緑と人との暮らしの調和をはかろう |

原市場地区協働計画「アクションプラン」



将来像

サブテーマ

アクションプラン

自然とまちがそこに
ある豊かなふれあい
—いきいき原市場—

心がかようまちづくり

四季を感じる歩こう会事業

活力あるまちづくり
をはかろう

子ども達と原市場を元気にする事業

緑と清流の保全をは
かろう

蛍の里づくり事業

住みよい環境づくり
をすすめよう

原市場いきいき広場管理事業

花のあるまちづくり事業

世代を超えた交流を
はかろう

いきいき原市場まつり事業

緑と人との暮らしの
調和をはかろう

木の文化を伝える事業



四季を感じる歩こう会

★アクションプラン①「四季を感じる歩こう会事業」

〔目的〕

当地区には四季を感じることができる散策路がたくさんある。そこで、普段ではなかなか歩けない地域をみんなで楽しく散策し、健康づくりやコミュニケーションを図りながら、地域を見つめ直す良い機会とする。

〔取り組み方〕

ただ歩くだけではなく、コース沿いの史跡・古刹を訪ね、参加者に楽しく新しい発見をしてもらえるようなコースを選定し、道標や案内板の設置、コース整備等を行っていく。

★アクションプラン②「子ども達と原市場を元気にする事業」

〔目的〕

子ども達といっしょに、原市場を元気にするには何が必要か考え、実行する。また、子ども達も関わる諸団体と連携して、地域の絆を深める。

〔取り組み方〕

- ・原市場の森を中心に、ヤマネの巣箱観察など自然観察会を開催する。
- ・植樹などを通して、原市場の里山保全を子ども達と実践する。



ヤマネの巣箱設置作業

★アクションプラン③「蛍の里づくり事業」

〔目的〕

原市場に多くの蛍が飛び交うよう清流保全に注力する。

〔取り組み方〕

- ・蛍の観賞会を行い、蛍の生育環境への関心を高める。
- ・蛍の餌になるカワニナを飼育・放流する。
- ・蛍の育成を通して、自然環境を守る活動を支援する。

★アクションプラン④「原市場いきいき広場管理事業」

〔目的〕

子どもたちが安心して遊べる広場をつくる。

〔取り組み方〕

- ・除草、整地、遊具の安全管理に努める。
- ・子どもの外遊びについて、考える機会とする。



★アクションプラン⑤「花のあるまちづくり事業」

〔目的〕

地域の環境づくりのために、歩道沿いや空き地に草花や花木を活かした景観づくりを行う。

〔取り組み方〕

今までの取り組みでは地域内の歩道沿いや空き地を借り上げ、サツキを中心に各地区で管理をして、景観づくりに大きな実績を上げてきた。

今後さらに四季の草花や花木を植えて管理を行うとともに、地域住民の活動として草花の苗を育て、道行く人の心を楽しませ、魅力ある地域づくりを目指す。

★アクションプラン⑥「いきいき原市場まつり事業」

〔目的〕

地域が一体となり参加できるイベントを通して地域の交流を深め、まちづくりへの意欲を向上させ、活性化を図る。

〔取り組み方〕

- ・ 幼児からお年寄りまで参加できるまつりづくりを進める。
- ・ 現在行われている催し物を一層充実させるとともに、住民の参加しやすい楽しい催し物を実施する。
- ・ 広報活動を充実させ、住民の参加、来場者の増加を図る。



いきいき原市場まつり

★アクションプラン⑦「木の文化を伝える事業」

〔目的〕

環境問題を考え、木の暖かみや優しさ等、様々な木の特性を生かし、子ども達に伝える。

〔取り組み方〕

- ・ 木の文化を伝えるための事業を展開する。
- ・ 親子木工教室を開催する。



木工教室



子ノ権現



権五郎神社



竹寺



リュウガイ城跡

アクションプラン①
四季を感じる歩こう会事業



金錫寺

木造宝冠釈迦如来坐像（市指定）

アクションプラン③
蛭の里づくり事業

原市場地区アクションプランマップ



アクションプラン②

子ども達と原市場を元気にする事業

アクションプラン⑦

木の文化を伝える事業

アクションプラン⑤

花のあるまちづくり事業



西光寺板石塔婆



若山牧水の歌碑



サクラの植樹



アクションプラン④

原市場いきいき広場管理事業

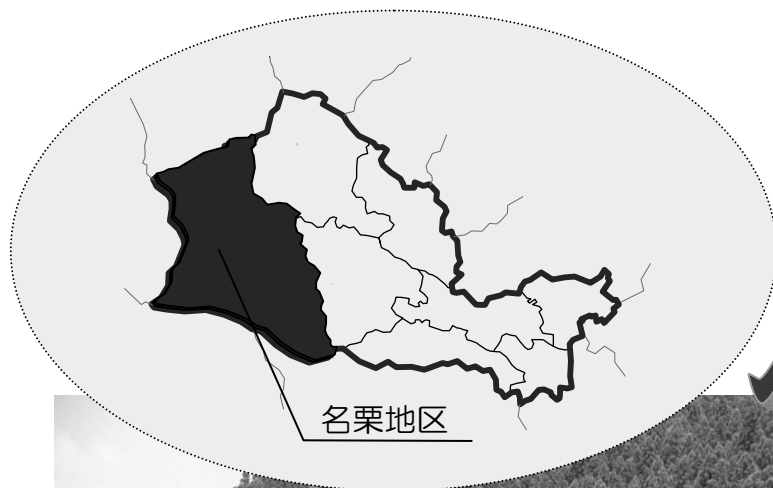
アクションプラン⑥

いきいき原市場まつり事業



唐竹白鬚神社（県指定）





名栗地区



名栗川橋

飯能市の西部に位置する名栗地区は、全域が県立奥武蔵自然公園に指定され、自然と清流を誇る「自然の美術館」といえる。

また、日本三林業のひとつ西川材の主産地でもあり、清らかな清流と手入れの行き届いたスギ・ヒノキの美林を誇りとしている。

地区内には、自然が多く残されていることから、「癒し」や「安らぎ」を求める観光客が多く訪れ、行楽シーズンには賑わいを見せている。

活動実績

「ホタルの里づくり事業」

- ・ホタル鑑賞会並びにホタルが見える場所にのぼり旗を設置した。
- ・ホタルの餌となるカワニナを入間川・有間川に放流した。

「景観整備事業」

- ・ハイカー用の杖をつくり登山口に設置して、ハイカーが自由に利用できるようにした。
- ・西川材でベンチとプレートを作成して、地区内の主要なバス停に設置した。
- ・地区内道路沿いの桜の木の整備を継続して行い、日本さくらの会から表彰を受けた。
- ・有間ダムの壁画修復に協力するなど観光資源の整備を行った。

「イベント事業」

- ・地区内で開催されたイベント等に協力して、交流人口の増加を図った。

現状と課題

名栗地区は、区域の 94%を山林が占め、荒川の源流域である入間川の清らかな水が流れる豊かな自然環境であることから、やすらぎを求める都市住民の「癒しの空間」や地域住民との「ふれあいの空間」等として活用できる可能性を秘めた地域である。

一方、山間地域に属する名栗地区は、少子高齢化による人口減少、特に若い世代の流出が進む地域であり、地域活力の維持の面で将来に大きな不安を抱えている。また、近年の国産材需要の低迷などにより、長期にわたって林業経営の不振や林業の後継者不足など深刻な問題を抱え、森林の育林不足による荒廃が危惧されている。

このことから、この広大な森林をいかに効果的かつ効率的に管理を行っていくか、また、若年層にとっていかに魅力ある自然環境づくりを進めることができるかということが求められている。

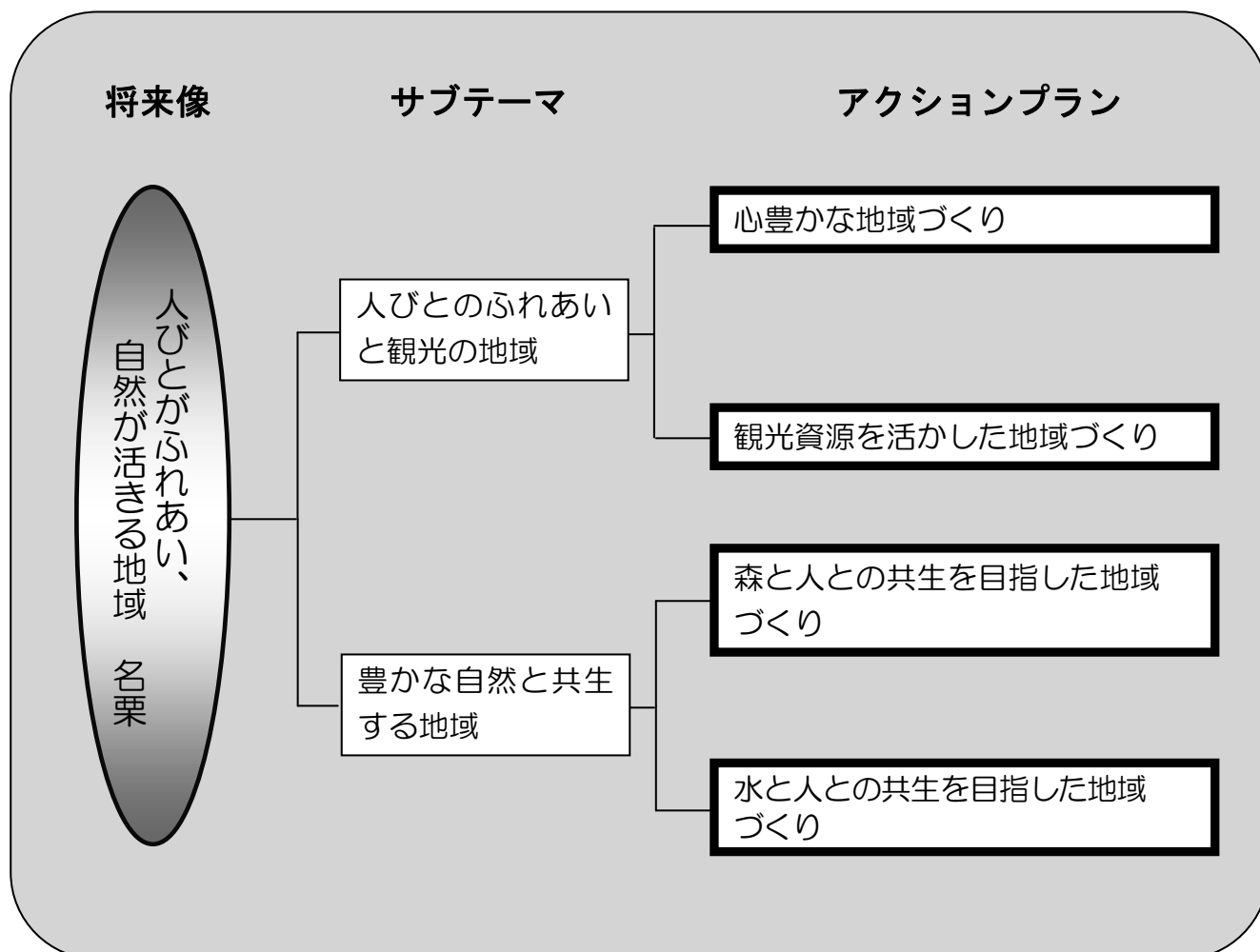
将来像

人びとがふれあい、自然が活きる地域 名栗

サブテーマ

- 人びとのふれあいと観光の地域
- 豊かな自然と共生する地域

名栗地区協働計画「アクションプラン」



名栗湖

★アクションプラン①「心豊かな地域づくり」

〔目的〕

少子高齢化による人口減少が進む中、自主性・主体性を尊重したコミュニティづくりを推進し、地域の人々の連帯感と交流が重要となっている。

地域への愛着を深めながら地域社会の形成に参加する気運を育み、活気と親しみのある地域づくりのために、誰もが身近にできる活動を進める。

〔取り組み方〕

- ・ 清掃活動を通じた環境整備
- ・ 花木による景観づくり
- ・ 地区内沿道の整備
- ・ 地区内河川の整備



地区内沿道の立木の剪定作業

★アクションプラン②「観光資源を活かした地域づくり」

〔目的〕

名栗地区は、入間川の源流と清流、奥武蔵の山々や温泉など、自然が豊かで歴史的資源も多く点在しており、首都圏から近い観光レクリエーションの場として多くの観光客が訪れている。

潜在的な観光資源を活用するとともに、魅力アップを図り、住民も来訪者もともに楽しめる環境づくりを進めていく。

〔取り組み方〕

- ・ ふるさと名栗の観光・名所めぐり
- ・ ハイキングコースの整備
- ・ ハイキングコースに杖を設置
- ・ 散策コースにベンチと道標を設置
- ・ 地域のイベントへの協力



名栗の名所のひとつ・鳥居観音

★アクションプラン③「森と人との共生を目指した地域づくり」

〔目的〕

西川林業の中心地として栄えた名栗地区は、森林の多目的利用を推進するために、計画的な伐採による生態系の保全や天然林の保護など適正な保全管理を行い、山林の保水力向上、災害防止、自然景観の保持を進めるとともに、森林と人との共生を図っている。

林業の活性化を推進するために、西川材の活用や森林体験などを実施し、この豊かな森林を後世に引き継いでいく。

〔取り組み方〕

- ・ 西川材を活用した地域づくり
- ・ 針葉樹や広葉樹の特性を生かした環境整備
- ・ 森林体験イベント
- ・ 西川材を活用して通学路に花壇づくり



上名栗の林

★アクションプラン④「水と人との共生を目指した地域づくり」

〔目的〕

入間川の最上流部に位置する名栗地区は、緑豊かな森林が生み出す清らかな水が、多様な生物を育む自然環境を形成し、私たちに憩いと安らぎを提供してくれる。

この貴重な資源である清流を守るために、水辺の生態系や環境の保全・再生に努めるとともに、清流の大切さを認識してもらう。

〔取り組み方〕

- ・ 水生生物の観察や保護
- ・ 清流の環境づくり
- ・ ホタルの里づくりのためのカワニナの飼育



名栗川



県立名栗げんきプラザ

ご家族から団体の方まで
楽しい発見がいっぱい！
名栗の森を探しに来てく
ださい。

アクションプラン③
森と人との共生を目指
した地域づくり



星宮神社

飯能市指定無形文化財の
獅子舞は、毎年9月下旬
に開催されます。演目「屏
風返し」では女獅子と男
獅子2匹が共演します。



検瀧諏訪神社

露払いの猿田彦命の先導
により名栗川の淵に面し
た古い参道から社殿前庭
に入り獅子舞を行います。



松木の観音堂

千手観音像を本尊とし、
武州一揆に参加した者た
ちの落書きが残っている
といわれている。

アクションプラン①
心豊かな地域づくり

名栗地区アクションプランマップ

アクションプラン④ 水と人との共生を目指した地域づくり



下名栗諏訪神社

埼玉県指定無形文化財「下名栗の獅子舞」は、毎年8月下旬に開催されます。特に最後の演目である白刃は、真剣を使い勇壮な獅子舞である。



名栗カヌー工房

自分で作ったカヌーを名栗湖に浮かべて楽しむ…夢がふくらみますね！



旧名栗郵便局

昭和4年建造。外壁は中の砂が浮き出す「洗い出し」と呼ばれる仕上げがなされ壁面の装飾はコテで描かれています。



名栗川橋

埼玉県指定有形文化財。大正13年建造。県内に現存するものとしては最も古く全国でも初期の橋である。



名栗湖（有間ダム）

周辺にはハイキングコース、カヌー、温泉、釣場などが整備されています。



有間溪谷観光釣場

自然の渓流を利用し、大小さまざまな淵を区切った自然豊かな釣場です。施設内には、足湯も完備されています。

アクションプラン② 観光資源を活かした地域づくり

編 集 発 行 平成28年4月
各地区まちづくり推進委員会
飯能市市民生活部地域活動支援課
問い合わせ先 飯能市市民生活部地域活動支援課
TEL 042-973-2626
FAX 042-974-6737
E-mail jiti@city.hanno.lg.jp
